

2022年度A SEED JAPAN 事業報告（案）

2022年度概要

・ ミッション

持続可能で公正な社会をつくるため、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会・経済システムを変えていきます。

1. 環境問題を経済や社会構造そのものから見据えていきます

私たちは、環境問題や南北問題が進行している原因は経済や社会の構造そのものにあると考え、その根本にある原因を見据えて行動します。

2. 青年の立場から環境問題をわかりやすく伝えていきます

私たちは、環境問題や社会的不正について、またそれらの問題と私たちのライフスタイルが密接につながっていることを、青年をはじめとする多くの人々にわかりやすく伝えていきます。

3. 長期的視野を持って社会を変えていきます

私たちは、地球の未来を危惧するメッセージを継続的に発信していきます。そして、長期的な視野を持ち、現在の社会システムを変えていくための提案と行動を起こしていきます。

・ 理事会より

2022年度は有給スタッフに鈴嶋が加わり、事務局は小川との2人体制となりました。事務局業務のうち総務部分は小川が担い、円滑に6月に引っ越しを行うことができました。鈴嶋は週2～3日、リモート勤務も併用し広報や渉外、助成金対応、学生へのアウトリーチなど組織的な課題を改善する業務を担当しながらもプロジェクトの活動推進も業務として担いました。学生メンバー獲得を目指し、オリエンテーションやインターンの参加募集をウェブサイトやactivoなどの外部サービスも利用し、大学のボランティアセンターに広報協力の要請をするなど、積極的に募集活動を行いました。ESGウォッチプロジェクトを推進する中で勉強会やブース出展、気候マーチへの参加など、対外的な活動は活性化し、ほぼ毎月数名ずつオリエンテーションやインターンへの申し込み、問い合わせが入るなどの好循環が生まれつつあります。また、通年を通じてプロジェクトのための資金調達という観点から助成金申請にも積極的に取り組みました。

経営面では10月に大村が新しく理事として加わり、人財育成を含めて理事会の経営力を強化しました。組織として数年後のビジョン検討が始まりました。目指す社会変化のために会員の皆さんとともにA SEED JAPANのこれからの姿を描き、少しずつ前進していきたいと思えます。

・役員／事務局スタッフ・ボランティア

役員

名前	役職	担当
大坂 紫	理事	ハブ30
大村 哲史	理事	人財育成
鈴嶋 克太	理事・事務局スタッフ	ESGウォッチプロジェクト
田川 道子	理事	エコ貯金ラボ
濱田 恒太郎	代表理事	全体統括
三本 裕子	理事	組織基盤

事務局スタッフ・ボランティア

名前	役職	担当
小川 暁平	事務局スタッフ	総務
鈴嶋 克太	事務局スタッフ	事業
富田 一	委託	会計
長峰 友子	ボランティアスタッフ	広報・Web
浦山 裕史	ボランティアスタッフ	広報・Web

活動報告

年間の活動

2022年度は、イベント開催だけでなく、他団体のイベントへのブース出展やミーティングへの参加など積極的に対外的な関係性構築にも注力した一年となりました。

月	内容
6月	<ul style="list-style-type: none">・ 勉強会「非人道的兵器にあなたのお金を使わせないためにできること」開催（ESGウォッチプロジェクト）・ 事務所引っ越し
7月	<ul style="list-style-type: none">・ 会員総会
8月	<ul style="list-style-type: none">・ SDGs Youth Summit 2022 名義後援、ブース出展（主催：Japan Youth Platform for Sustainability Summit）（ESGウォッチプロジェクト）・ スキル・ベースド・ボランティア プレゼンテーションワークショップ参加（主催：ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ）（ESGウォッチプロジェクト）・ 勉強会「『それ本当にESG?』～世界の森を守るためにできることを考えよう！」開催（ESGウォッチプロジェクト）・ インターン受け入れ（主催：ドットジェイピー）（事務局）
9月	<ul style="list-style-type: none">・ 第3回横須賀気候マーチ 参加（主催：横須賀火力発電所建設を考える会／People Powerよこすか）（ESGウォッチプロジェクト）・ 大阪IR・カジノへの銀行融資に反対する院内集会 協力・銀行前アピール（主催：AMネット）（事務局）
10月	<ul style="list-style-type: none">・ RED, GOLD & GREEN にEco Life Guide 設置（エコ貯金ラボ）・ 【ウェビナー on 国際アクションデー】「気候変動の新たな脅威 ～大規模バイオマス発電の妄想～」共催（主催：FoE Japan、地球・人間環境フォーラム）（ESGウォッチプロジェクト）
11月	<ul style="list-style-type: none">・ 明治学院大学 講義（エコ貯金ラボ）・ エコ就職カフェ2022「世界の森林を守るための政策提言活動とは？開催」（ハブ30）・ オンラインセミナー「カナダ・ブリティッシュコロンビア州の林産業・木質ペレット生産現場 視察報告」協力（主催：地球・人間環境フォーラム、Mighty Earth）（ESGウォッチプロジェクト）
12月	<ul style="list-style-type: none">・ エコ就職カフェ2022「生物多様性を守るための国際会議での政策提言活動とは？」開催（ハブ30）
2023年 2月	<ul style="list-style-type: none">・ インターン受け入れ（主催：ドットジェイピー）（事務局）・ エコノミクス甲子園ビジネスラウンド 講師（主催：金融知力普及協会）（エコ貯金ラボ）

	・「若者のESGウォッシュに対する意識調査」実施（ESGウォッチプロジェクト）
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未来世代法勉強会（講師：東北大学教授 明日香壽川 氏） 参加（主催：日本若者協議会）（事務局） ・ 勉強会「投資信託におけるESGウォッシュを知ろう」～「脱炭素」「カーボンニュートラル」「気候変動対策」、その中身をウォッチ!!!」開催（ESGウォッチプロジェクト） ・ 社会に優しいお金の流れと ライフプランを考えるプチセミナー開催(エコ貯金ラボ) ・ 『「企業のエシカル通信簿」結果発表会 ～加工食品メーカー』協力（主催：消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク(SSRC)（事務局）

エコ貯金ラボ

活動概要

- ・ 持続可能な社会に向けた社会的金融文化を醸成する
- ・ 知識や人脈の構築、運営資金の獲得等、1年後を目途に自立できるためのノウハウを構築していく。

2022年度Objective：プロジェクトの目標

- 1.啓発活動を実施する（プチセミナーの開催やイベント登壇等）
- 2.認知度を拡大する（Twitter等のSNS）

2022年度Key Results：達成指標と評価

1.啓発活動実施

i) ウェブサイトEco Life Guideの更新

市民が、社会性まで目を向けて金融を利用するための情報を掲載する。

- ・ 啓発を目的としたコラムを連載する（月1回）
- ・ 過去つながりのあった方々へお知らせする（各種NPOバンク、オイコクレジット・ジャパン、Friends of the Earth Japan、WWF Japan等）

ii) セミナー等登壇

1の評価

i) ウェブサイトEco Life Guide (<https://ecolifeguide.jp/>) の更新

コラムの定期的な更新が課題だったが、タイムリーな文章作成が行えず1回の更新となった。更新が遅延したため、他団体へのお知らせも行えなかった。

ii) セミナー等登壇

- ・明治学院大学講義（2022年11月10日）は3年ぶりにリアル開催、約70人の学生が受講。銀行などに預けたお金のその先やエシカルな消費について初めて考えた学生が多く、大変貴重な機会になったとの感想をもらった。
- ・全国から選抜された高校生が参加するエコノミクス甲子園ビジネスラウンド（2023年2月25日）にて、金融の社会性についてレクチャーを実施。グループディスカッションのテーマに、「軍需産業への投資はESGに反するか否か」を選び、生徒たちはディスカッションを行なった。約30人が参加し、「より良い社会とは何か」「平和とは何か」等を考えるきっかけになったとの感想をもらった。
- ・オンラインセミナー（2023年3月17日）開催。当日参加希望の問い合わせがあったが対応が行き違いとなり、メンバーの知人1人のみ参加。参加者は金融機関勤務だが、環境と金融のつながりについて考える良いきっかけになったとの感想を頂いた。

2.認知度拡大

- ・Twitterを投稿継続する（週1回程度投稿）

<投稿する内容>

- ・社会問題（問題提起）
- ・資産形成（将来に備える）
- ・エコな話題（気軽な話題）
- ・フォロワーは200人を目指す

2の評価

定期的なツイートは続けたが、フォロワー獲得数が伸びなかった。今後、認知を広げていくための基本的な方法（タグを30個つける、時間帯を工夫する等）を地道に行なっていく。

- ・Twitter 120ツイート（2021年8月～） ・31フォロワー（2023年3月31時点）

- ・担当理事：みっちゃん
- ・メンバー：おーちゃん、ゆかりん、キャサリン、てら

ESGウォッチプロジェクト

活動概要

ESGウォッシュが起こっている社会構造が改善され、私たち（市民・個人投資家）一人ひとりが、真にESGにか
なう投資を行うことができることを目指して活動する。

2022年度Objective：プロジェクトの目標

- 1.【市民】一人ひとりがESGを判断できる知識を持っている。
- 2.【金融セクター】ESGウォッシュが疑われるファンド（投資信託）の改善を資産運用会社等に促す取り組み
を1つ以上行う。

2022年度Key Results：達成指標と評価

- 1.【市民】一人ひとりがESGを判断できる知識を持っている。
 - i) 内部勉強会を実施し、ESGウォッチメンバー全員が、ESGの重要性やその原則についての理解を深める（評
価方法：アンケートを実施）。
 - ii) 内部勉強会を実施し、ESGウォッチメンバー全員が、バイオマス発電事業に関する政策・企業活動について
の理解を深める（評価方法：アンケートを実施）。
 - iii) 上記の内容を「ESGウォッチ・インフォメーションシート」および「ESGウォッチ宣言」の形で発信し、15
0人の宣言賛同者（内訳は下記）を目指す。
 - 1) 公式HP及びESGウォッチ特設サイトで公開し、25人が賛同する。
 - 2) 第4回勉強会を開催し、勉強会参加者年間累計50人を目指す。第4回勉強会で参加者25人がESGウォッ
チ宣言に賛同する。

インスタフォロワーを100人に増やし、他のSNSアカウントフォロワーも含めて、合計100人がESGウォッチ宣
言に賛同する。

1の評価

- i) 内部勉強会は実施できていないものの、2023年3月26日の勉強会に向けたインフォメーションシートの作成
を通じて、ESG投資・ESGウォッシュの現状について、活動メンバーの理解を深めることができた。
- ii) 内部勉強会は実施できていないものの、2023年3月26日の勉強会に向けたインフォメーションシートの作成
を通じて、活動メンバーが基礎的な理解を獲得することができた。
- iii) 「インフォメーションシート」（第一版）はほぼ完成し、「ESGウォッチ宣言」のたたき台も作成すること
ができた。また、インフォメーションシート内の企画として「ESGウォッシュについての意識調査」を実施し、

122人の回答（2023年3月25日時点）を集め、活動の理論的根拠・提言内容の土台となる生の声を得ることができた。しかし、ESGウォッチ宣言への賛同を集め始めるには至っていない。

1) 特設サイトは開設できなかった。

2) 第3回勉強会（2022年6月25日）は16人（うち活動メンバー9人）、ミニ勉強会（2022年8月31日）は9人（うち活動メンバー5人）、第4回勉強会（2023年3月26日）は9人（うち活動メンバー5人）で、合計34人の参加。

3) インスタフォロワーは68人（2022年10月13日）から72人（2023年3月26日時点）に増加したが、目標を達することができなかった。

※「インフォメーションシート」：「ESG投資が重視されている背景」、「ESGウォッシュとは何か」を解説し、具体的な投資信託の分析を基に、読者がESGウォッシュについての理解を深めることを目的に作成しています。

※「ESGウォッチ宣言」：「ESGウォッチプロジェクトがESGウォッシュをなくすために必要だと考えていること」及び「一般市民がESGウォッシュを無くすために必要な心構え・行動」をまとめ、その共感を広く社会に呼びかけるために作成しています。

※詳細は、下記URLよりご覧ください。

https://www.aseed.org/230326_esgwatch_seminar

2.【対金融機関】バイオマス発電事業に絡むESGウォッシュが疑われるファンド（投資信託）を運用する資産運用会社の運用が改善される。

①「ESGウォッチ・インフォメーションシート」の公開をプレスリリースで発信する。

② 大規模輸入バイオマス発電事業を組み入れている運用会社に対して「ESGウォッチ・インフォメーションシート」を届け、運用会社のバイオマス発電事業についての見解・方針・投資状況を明らかにするよう働きかける。

2の評価

上半期のKey Results（<https://www.aseed.org/about/objective/>）としていた「内部勉強会によりチームのESG知識を強化する」に関しては、2022年7月24日に地球・人間環境フォーラムの飯沼佐代子さんを講師にお呼びして実施した内部勉強会、2022年8月31日のミニ勉強会、全体ミーティングの場でのメンバー同士の情報共有を通じて達成できた。

※2022年7月24日内部勉強会：https://www.aseed.org/report/220724esg_studysession_biomasspower

2022年8月31日ミニ勉強会：

https://www.aseed.org/report/220831esg_ministudysession_forest

下半期のKey Result①として掲げていた、「プレスリリースの発信」は、未達成に終わった。

Key Result②については、前述「インフォメーションシート」の作成を通して、働きかける内容（要請する内容）は具体化させることができたものの、実行には移せなかった。

※2023年5月現在シートを公開し、プレスリリースの2023年度内発信に向けて活動中です。

- ・担当理事：かつ
- ・プロジェクトメンバー：まゆっち、にっしー、もっぴー、かほ、ガリレオ、こうへい、はらこ、ささじゅん、くれば、ゆかりん、みつもと、はまこー、おーちゃん、あべし（夏インターン）

ハブ30

活動概要

- ・OGOBの知見を、現場のメンバーとつなぐ。

2022年度Objective：プロジェクトの目標

<Objective：プロジェクトの目標>

1. ワカモノメンバーが国際会議に参画できるよう、これまでのノウハウを整理するとともに、いくつかの国際会議に焦点を絞り、ウォッチする。
2. A SEED DAY記録を配布するとともに、ローカルで頑張るASEEDerを現場ツアー等を通じて取材する。
3. OGOBとのコンタクトを通じて、若者のサポート資源となるアシードネットワークを再構築する。

2022年度Key Results：達成指標と評価

1. ワカモノメンバーが国際会議に参画できるよう、これまでのノウハウを整理するとともに、いくつかの国際会議に焦点を絞り、ウォッチする。

- ・2023ー2024年度に参加できそうな国際会議のめど（2, 3個）をつけ、日程を把握できる状態になる

1の評価

国際会議について、ノウハウ整理及び具体的なウォッチは、今後の戦略が見通せず、実施に至らなかった。

2. A SEED DAY記録を配布するとともに、ローカルで頑張るASEEDerを現場ツアー等を通じて取材する。
- ・OGOBツアーを開催する（都内近郊2回、遠方1回）

2の評価

A SEED DAYの記録はまだ配布できていない。

※2023年5月現在、事務局業務に担当を移し取り組んでいます。

3. OGOBとのコンタクトを通じて、若者のサポート資源となるアシードネットワークを再構築する。

- i) Facebookグループの理事以外の投稿を月5件以上にする。
- ii) OGOB40人以上（うち海外等遠方10人以上）の近況をメンバーが共有できているようになる。
- iii) 会員復活10人、活動復帰10人を目指す。

3の評価

- ・Facebookグループの投稿を増やすための取り組みができなかった。
- ・OGOBツアー開催は叶わなかったが、OGOBを講師に社会課題と当時の A SEED JAPANの活動を学ぶエコ就職カフェを2回開催した。

-2022年11月19日 エコ就職カフェ2022「世界の森林を守るための政策提言活動とは？」開催

講師：岸田ほたるさん／申し込み者：1人

-2022年12月24日 エコ就職カフェ2022「生物多様性を守るための国際会議での政策提言活動とは？」開催

講師：小林邦彦さん／申し込み者：1人

- ・担当理事：ゆかりん
- ・メンバー：はまこー、みつもと、かつ

生きる働く

2022年度Objective：プロジェクトの目標

・ゲストに呼んだASJのOGOBの人となりが見えるような対談・ディスカッションを通して、学生や若手社会人に知ってもらえる機会になる

→環境問題だけでなく、生きることや働くことという視点から新たな層に対してリーチする。

→組織などの肩書きを背負って話す機会とは違い、等身大な個人に焦点を当てる。

1. 視聴回数：各動画300回を獲得する（YouTubeでの配信）
2. 配信経由でASJのオリエンテーションに10人が参加する。

2022年度Key Results：達成指標と評価

1. 視聴回数：各動画300回を獲得する（YouTubeでの配信）

- ・第1回・第2回（昨年度実施）の動画配信をスタートする
- ・10名に対して、対談・ディスカッションでの収録をし、編集後に約30本の動画を配信する。
- ・第3回以降の企画の検討、実施をする。
- ・各種SNS（Facebook、Twitter、Instagram等）、koyashi-MLで広報する。

1の評価

第4回まで収録を行ったが、編集作業を完了させることができず、公開には至らなかった。

第1回：えぐっちゃん（江口 健介さん）

第2回：おーちゃん（大村 哲史さん）

第3回：しま（長島 遼大さん）

第4回：かつ（鈴嶋 克太さん）

2. 配信経由でASJのオリエンテーションに10人が参加する。

- ・各回のゲストの魅力を発信し、A SEED JAPANの活動に参加することの意味や意義を伝える。
- ・ゲストの中に、現役メンバーも登場させ、共に活動をしたいと思ってもらおう。
- ・各動画でオリエンテーションの案内をする。

→動画内でのアナウンス・概要欄にリンクを貼る

2の評価

1が未達成のため情報発信を行うことができず未達成。

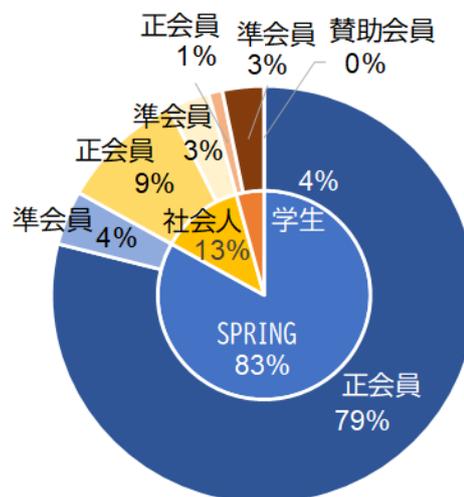
- ・担当理事：はまこう
- ・メンバー：あかつき

事務局報告

・会員

2021年度と比べてSPRING会員は5人退会しました。社会人（Root）会員は2人増加し、学生（Tree）会員は1人減少しました。（2023年3月31日時点）

会員種別	会員数	2021年度からの増減数
SPRING正会員	75	-5 (80)
SPRING準会員	4	+1(3)
社会人正会員	9	+2 (7)
社会人準会員	3	+0 (3)
学生正会員	1	-2 (3)
学生準会員	3	+1 (2)
個人賛助	0	0
合計	95	-3 (98)



・マンスリーサポーター

人数	2021年度からの増減数
8人	-1 (9)

・オリエンテーション

オリエン参加者	10人
ミーティング見学者	内 6人
ESGウォッチプロジェクトへの参加者	内 4人
新規会員	4人（学生2人、社会人2人）

・ 広報

1. 大学ボランティアセンターへの働きかけ

14大学（※）に対して、以下の情報提供を実施

- ・ 5月中旬：団体登録情報及び2022年6月25日のESGウォッチ勉強会について
- ・ 8月中旬：2022年8月31日開催のESGウォッチミニ勉強会について
- ・ 3月上旬：2023年3月21日のエコ貯金・プチセミナー、2023年3月26日のESGウォッチ勉強会、人材募集(活動メンバー及びインターン)の件について

（※）東洋大学、青山学院大学、東京都立大学、明治大学、成蹊大学、日本社会事業大学、中央大学、法政大学、亜細亜大学、明星大学、国際基督教大学（ICU）、立教大学、明治学院大学、上智大学

2. メールニュースレターの配信

発行日	ニュースレタータイトル
2022年8月15日	活動報告&活動予定～A SEED JAPAN ESGウォッチプロジェクト
2022年8月19日	「『それ本当にESG?』～世界の森を守るためにできることを考えよう!」（8月31日(水) 20:00～21:00開催 ESGウォッチ オリエンテーション×ミニ勉強会)
2022年10月12日	7～9月 活動報告&10月活動予定～A SEED JAPAN ESGウォッチプロジェクト
2022年12月15日	活動報告&12月20日(火)、12月23日(金) 開催 協力セミナーのお知らせ
2023年3月7日	A SEED JAPAN ESGウォッチプロジェクト～活動予定・イベント案内、インターン・活動メンバー募集、ESG関連ニュース
2023年3月10日	A SEED JAPAN 3月の勉強会（エコ貯金、ESGウォッチ）とアンケートのお願い

・ 講師・委員派遣

日付	内容	名前
2022年11月10日	明治学院大学 講義	田川
2023年1月17日～3月2日	「脱炭素チャレンジカップ」ありかた検討会 委員（ユースメンバー） （主催：一般社団法人地球温暖化防止全国ネット）	鈴嶋
2023年2月25日	エコノミクス甲子園ビジネスラウンド（高校生向けプレゼンディスカッション議題提示）	田川

・賛同案件

日付	内容	呼びかけ団体
2022年8月3日	大阪IRからの融資撤退を求める要請	AMネット
2023年3月3日	世界気候アクション0303	Fridays for Future

・加盟団体

団体／ネットワーク名	関わり方（いずれも団体）	備考
グリーン連合	会員	https://greenrengo.jp/
認定NPO法人気候ネットワーク	賛助会員	https://www.kikonet.org/
認定NPO法人日本NPOセンター	準会員	https://www.jnpoc.ne.jp/
SDGs市民社会ネットワーク	情報会員	https://www.sdgs-japan.net/
消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク	参加団体	https://cnrc.jp/members/
Fair Finance Guide Japan	協力団体	https://fairfinance.jp/
パワーシフト・キャンペーン	賛同団体	https://power-shift.org/
eシフト	参加団体	http://e-shift.org/
G7市民社会コアリション2023	団体会員	https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/

・その他

- ・コンプライアンス規程の策定
- ・社労士への労務環境の相談

以 上